

令和二年度 東京都立大崎高等学校 全日制課程

第七十二回卒業式 学校長式辞

日に日に春の訪れを感じさせる今日の佳き日に、東京都立大崎高等学校全日制課程、第七十二回卒業式を挙行できますこと、私をはじめ教職員一同大変うれしく思います。

ただ今卒業証書を授与しました、二百六十四名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとございます。かけがえのない青春の一時を本校で過ごし、こうして立派に成長して巣立っていく皆さんは大変素晴らしく、誇らしさにあふれています。これはひとえに学業や部活動などを通して、時には挫折感を味わいながら、時には仲間とぶつかり合いながらも、仲間を思いやり、励ましあい、共に一生懸命、一つ一つ積み重ねてきた結果です。一生付き合える仲間にも出会ったのではないでしょうか。私は、そのような皆さん<sup>1</sup>の頑張っている姿を見ることが何よりもうれしく、楽しみでもありました。

また、皆さんの成長を心待ちにし、深い愛情で見守っていただいた保護者の皆様には、心より敬意を表します。今日のお子様の姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおかと拝察いたします。さて皆さんは、思い起こせば3年前、期待と不安を胸に大崎高校に入学してまいりました。私も同じ時期に校長として赴任しましたので、校長としてのこの3年間は皆さんとともに歩んできた3年間でもあります。

この時の入学式の際に私は、「誇りを胸に」ということについて話をしましたが覚えていますか

自分に誇りを持つためには、自分のやるべきことを決めてまず行動すること、その積み重ねが自信や結果につながって、誇りが

持てるようになるということ、そして自ら考え、行動できるようになって、自分はこうありたいと、本心から念じて取り組んでください。といったことをお話ししましたがどうでしょう。三年前の自分と比べて、今の自分の成長を感じられているでしょうか

1年生の時は中学生気分が抜けず、担任の先生方に指導されることが多かったように思いますが、学年が進むにつれて、目標をしっかりと持って行動できるようになってきました。2年生での体育祭や文化祭などは皆さんが中心となって、学校行事を盛り上げてくれましたし、多くの練習風景や公式戦を拝見させていただいた部活動では、一生懸命本気で取り組む生徒が非常に多くなってきたと思います。

しかしながら今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響の為、楽しみにしていた学校行事の相次ぐ中止や、引退がかかった大会や発表会の中止など、今までの集大成としての力を発揮していただく場を皆さんに提供することができなかつたことが残念でなりません。さらに大学入試制度の度重なる変更や、厳しかった就職活動など、不安なことや苦しいこと、辛いこともたくさんあったと思います。それでも皆さんは、今の現実をしっかりと受け止め、コロナ渦を過ぎた仲間として、お互い励ましあって、今自分ができることに懸命に取り組んでくれました。そのような皆さんのひたむきな姿を見届けることができたことは、校長としてこれ程うれしいことはありません。担任の先生方も、学年が上がるにつれ、皆さんが主体的に物事を考え、行動できるようになってきたことが一番うれしいとおっしゃっていました。

今大崎高校は、地域から信頼され、選ばれる学校へと変わってきておりますが、それはひとえに皆さんのこの三年間の頑張りのおかげです。誰もが礼儀正しく、明るく挨拶をしてくれる姿や、

真面目に勉強や部活動に取り組む姿勢が、学校説明会に来てくださった多くの中学生やその保護者からの共感を呼び、大崎高校に是非とも通わせたいとおっしゃっていただきました。皆さんが残してくれた数々の功績は、必ずや後輩達が受け継いでくれることでしょう。

今後は、それぞれ選択した道で大いに活躍をして欲しいと思っています。そして何より、幸せな人生を歩んでほしいと心から願っています。

幸せな人生を歩めるかどうかは、自分の考え方次第です。現状の失敗を不幸だと思うか、成長のチャンスだと思うかによって、その後の道は大きく変わります。苦しい時や壁にぶつかった時ほど、物事をポジティブに捉えて挑戦することが必要です。「楽しいことをやる」のではなく「やることを楽しむ」という姿勢が必要ではないでしょうか

3

それと周りの人々への感謝の気持ちも忘れてはなりません。どんな時にも、信じて支えてくれた人々がいたから、乗り越えられたことがたくさんあるはずです。幸せは、周りの人との関わりの中で実感できるものです。自分のやっていることが人から感謝されたり、世の中の役に立っていると感じられたりすることで味わえるのではないのでしょうか。

でも一番大切なことは、まず自分が幸せになることです。今までの頑張りに誇りを持つことです。たとえ失敗してもうまくいかなかったとしても、その時その時を全力でやり続けたからこそ、今があるのです。自分に感謝して、自分を誇りに思って、心を幸せいっぱいにしてこれからの輝かしい未来を歩んでいってください。

皆さんには無限の可能性が秘められています。未来を見つめて

進んでいけば、そこには必ず希望の光があります。本校を卒業したことに、「自信と誇り」をもって、皆さんそれぞれが自分らしく、さらに大きく成長することを願っています。

結びに、保護者の皆様には、この三年間本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せましたこと、心より感謝申し上げます。

それでは卒業生の皆さん、皆さんの洋々たる前途が健やかで幸多きことを祈り、式辞といたします。

令和三年三月六日

東京都立大崎高等学校 校長 豊岡 耕一郎